

平成 28 年度
地域の“まちづくりびと”養成講座
(入門編)

第 5 回

『まちづくり企画をつくろう②』

まちのスキの育て方

創造的都市まちづくりを考えよう

日時：平成 28 年 9 月 11 日 (日)
時間：13 時 30 分～17 時 00 分
場所：名古屋市短歌会館



中区錦二丁目にある名古屋市短歌会館にて、「平成 28 年度地域の“まちづくりびと”養成講座(入門編)」の第 5 回講座を開催しました。

この講座は、講師の名畑恵さん、名古屋都市センターの養成講座修了生である「まちづくりびと」、中区役所、都市センターを執行委員として講座の企画・運営を行っています。

時間	内容
13:30-13:40	はじめに (新田 30分、木田 10分)
13:40-15:00	ワークショップ「まちづくり企画をつくろう②」 (100分)
15:00-16:00	アベニュータイム 名畑 5分、全体討論
16:10-16:30	まゆ (10分)
16:30-16:50	授け (20分)
16:50-17:00	お知らせ 巴 2分

第 5 回講座のタイムテーブル

ふりかえりと今回のねらい

第 4 回講座では、まちづくりのなかで段階的に目標を設定しクリアしていくためのプロセスについて講師の名畑氏による講義を踏まえて、グループ毎に考えたまちづくり企画に目標やターゲット・しかけ・期待する効果などの枠組みを考えました。

今回講座のまちづくり企画の提案発表について講師より、時間軸を意識した提案にするとよいと伝えられ、また、まちづくり企画の提案に対するリクエストやブラッシュアップにつながる助言が書かれた手書きの手紙がグループ毎に渡されました。



グループ毎に渡された講師からの手紙

ワークショップ「まちづくり企画をつくろう②」

第 4 回講座で作成した企画シートに書かれた内容を具体的にし、発表のための模造紙や発表に使用する小道具の作成がグループ毎に進められました。講師からは「絵を描いたり紙を切ったりと手を動かしながら考えていくことで発想が豊かになり、よりよいストーリーが生まれ、企画が深められる。」「第 4 回講座では企画をロジカルに発想したため、今回は飛躍する楽しさ、楽しいプレゼンを心がけてほしい。」と伝えられました。



発表と話し合い

グループ毎にまちづくり企画の提案を発表しました。とても工夫された寸劇や人形を使ったまち歩き解説など、様々な発表方法や提案に、会場は驚きと拍手で盛り上がりました。

「原石」ハンターズが行く！

人を呼ぶまち・人を育てるまち・になる！！

まちの住人やまちに来た人、これから来るであろう未来の住人を原石に例え、原石である人がまちとの関わりを経てどんどん磨かれ、まちを訪れ、住人となりという光輝く宝石になるサイクルを模造紙に表現しました。このサイクルをうまく循環し、どうしたら今住んでいる住人がより深くまちに関わり、未来の住人を呼ぶことができるか、そのしかけを考えました。

■主な提案

①案内所・案内人の設置

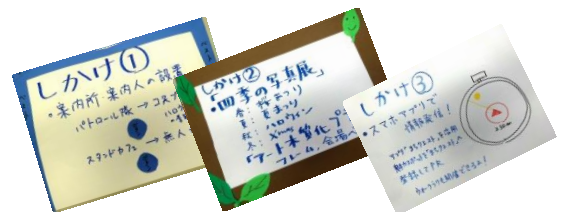
案内人がパトロール隊にもなり季節毎にコスプレをして親しみやすく&スタンドカフェを設置！

②四季の写真展を開催

写真のフレームを「木質化」

③スマホアプリでまちの情報発信！

まちの魅力スポットをアプリに登録



のんびりさんぽ

緑のあるまちづくり、人が集うまちづくり

緑のあるまちをテーマに、仲良し親子がのんびり散歩をしながら、まちの様々なしかけを体験していく様子を寸劇で発表しました。

■主な提案

- ①訪れた親子にまちの魅力を伝える「まちの情報案内板」
- ②案内板で着物レンタルがあることを知り、早速着替えてお散歩に。
- ③お散歩中に目を楽しませしてくれる、店先の店主に大事に育てられている「プランターの草花」
- ④まちの店主が大切に育てたプランターの草花で「プランターコンテスト」を開催。
- ⑤プランターの草花を使った「染め物体験」
- ⑥親子がレンタルした着物は草花の染め物でつくられた長者町繊維街オリジナル。

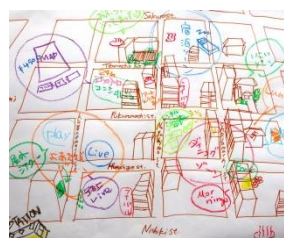
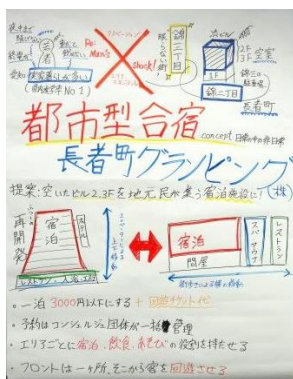
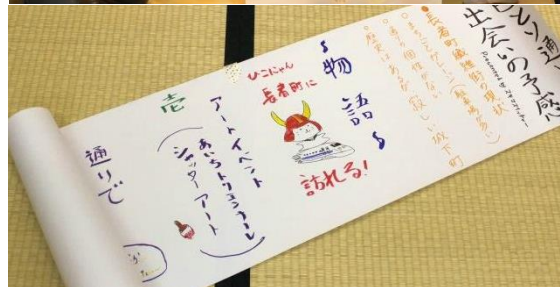
スキマスイッチャー

色とり通りで出合いの予感

まちが碁盤の目となっていて似ている場所が多い、個性が無い、駐車場が多いなどの長者町の現状の課題を解決するために、「色とり通りで出合いの予感」と題し、ひこにゃんと長者町君の手作り人形と地図、巻物を使って提案を発表しました。

■主な提案

- ①シャッターペイントやトリエンナーレなどのアートに出会える通り
- ②駐車場に屋台が出て飲食店が立ち並び賑わっている通り
- ③休憩スペースなどがあり、とにかく安らげる通り
- ④様々な音楽で歌って踊れる通り



Re:MAN'S X Shock

都市型合宿・長者町グランピング

リノベーションをテーマに長者町で空室となっている2～3階を活用し、実家暮らしが多く早い終電のため騒ぎ足りない名古屋の若者、眠らない街・錦三丁目に隣接する錦二丁目につなげ、リノベーションとエリアマネジメントで空ビルを改装し、宿泊できる魅力的なキャンプ「グランピング」が出来る場所と運営会社をつくることを提案しました。

格安な宿泊料に設定し、飲食等を回遊できるチケットを付随して販売して、まちにお金を呼び込み、まちなかで遊んだり、まちのコンシェルジュからおススメの場所を案内してもらったり、路上ライブを楽しんだりなど、まち全体をひとつのリゾートとして楽しめるようなしなかけを発表しました。

くらしの観察隊

子どもの自転車天国を通じた くらしある長者町

子どもが安心して遊べるまちを目標に、自転車を通じてまちを変えていくくみを大がかりな小道具を用意し、寸劇によって提案しました。

■主な提案

①土日限定 子ども自転車天国

自転車で行き交うことのできる場所をつくり、子育て世代の親子に長者町を知ってもらうきっかけにするとともに、自転車の講習会を実施し、安全意識を高める。

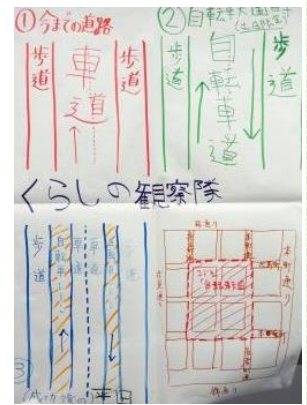
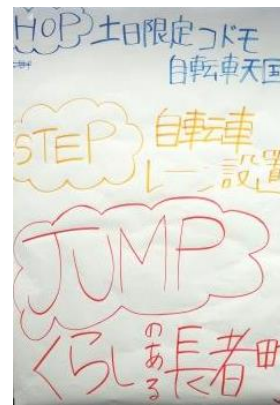
②自転車レーンの設置

車道と歩道、自転車レーンが並び、長者町が環境にやさしいエコな自転車交通モデル地区に！

また、空きビルを活用した託児所、児童館などの子どもの居場所づくりと空き駐車場を公園化。

③くらしある長者町

子育て世代の住人や来訪者が増える。



全てのグループの発表が終わった後には、受講生がよかったと思うグループへ投票し、なぜそのグループに投票したか意見を共有しました。

講師からは、少数意見にまちづくりの真理があると話され、選んだ理由について票数が少なかった「スキマスイッチャー」に投票した受講生は「碁盤の目でどこにいるか分かりづらいという課題を解決してくれた」とコメントしました。また、票数の多かった「Re:MAN' S×Shock」へ投票した受講生は「現状の課題に対して、地域と貨幣経済をまわす現実的な解決策を提案された」とコメントしました。



受講生からの投票へのコメントの様子

■まとめ

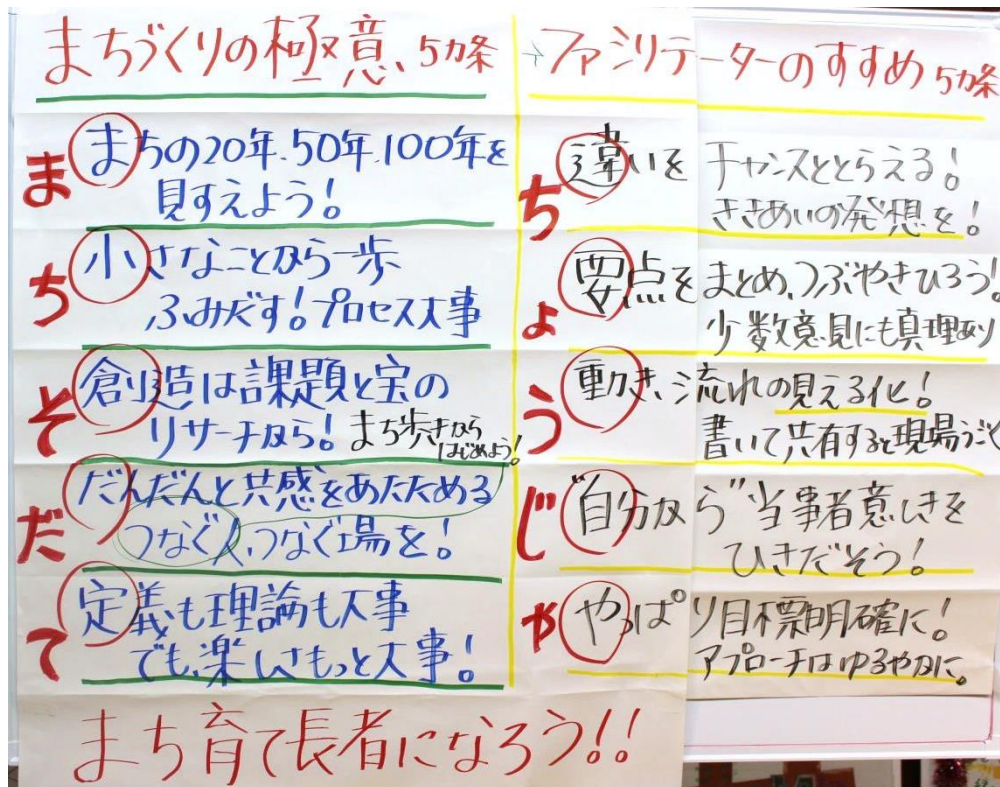
講師より、講座全体を通じて学んだ、まちづくりの極意やファシリテーターとしてどのように合意形成に結び付けるか、まちでの活動方法を、キーワードにまとめました。

まちづくりの極意5カ条

- ま まちの20年、50年、100年を見すえよう！
- ち 小さなことから一歩ふみだす！プロセス大事
- そ 創造は課題と宝のリサーチから！まち歩きからはじめよう！
- だ だんだんと共感をあたためる つなぐ人、つなぐ場を！
- て 定義も理論も大事、でも楽しさもっと大事！

ファシリテーターのすすめ5カ条

- ち 違いをチャンスととらえる！ききあいの発想を！
- よ 要点をまとめて、つぶやきをひろう！少数意見にも真理あり
- う 動き、流れの見える化！書いて共有すると現場がうごく
- じ “自分から”当事者意識をひきだそう！
- や やっぱり目標明確に！アプローチはゆるやかに。



キーワードの頭文字をつなげて読む頭韻要約法を用い「まち育て長者になろう!!」とまとめられました。また、各グループの提案には「原石を磨く」「もともとあるまちの隙間を活かす」など、まちにあるものを調べて育てるという視点をどのグループもうまくとらえていたと話されました。

■ 修了証授与

名古屋都市センター参事の青木よりメッセージと受講生に修了証が授与されました。

今回の舞台である中区錦二丁目界限は、既にまちの方々が積極的に活動され、一方ではリニア新幹線の開発に伴い、様々な動きが出てきている地域です。そのなかで名古屋の顔である錦二丁目これからどうなっていくか、名古屋だけでなく日本のなかの位置付けとしてどうなるかというテーマが含まれた難しい場所でした。そのため、講座で皆さんの議論が深まるか心配しましたが、皆さん知恵を出して様々なすばらしいまちづくりの提案が出していただいたなと思います。



また、話合いの技法は、ここで知らない間に体現されていることがあります。会場に用意されている紙やペン、会場の手配、名畑さんやグループファシリテーターの皆さんの今までの準備がモデルとなります。これから先、今回を思い出しいただければ、自分が話合いの場で活躍するモデルになれるのではないかと思います。

また、名畑さんから講座修了生へ特別に、長者町でつくった「長者町コイン」も贈呈されました。これは、長者町で育てている蜂とみかんと反物がデザインされたコインで、あいちトリエンナーレを機会に長者町のお土産として制作されたものです。



長者町コイン

修了証を授与された受講生から今後のまちづくり活動への意思表示や講座の感想を言ってもらいました。

いろいろな人が話し合うワークショップの良さを知りました。まだまだ勉強中の身なので、これを機にまちづくり長者に向けて、更に精進していきたいです。



自分のいる地域のシティ・プロモーションをしたいと思っており、今回学んだことを活かしていきたいです。

今回参加させていただいて、ファシリテーターの技術を学べる機会を得られて良かったです。この場で得られた縁を大事にして、何かできればと思います。



記念撮影



「原石」ハンターズが行く！



のんびりさんぽ



スキマスイッチャー



Re:MAN' SXShock



くらしの観察隊



閉会

様々な学びや経験を得た受講生の「まちづくりびと」としての活躍を期待し、全5回の講座を拍手で終了しました。

講座修了後は、別会場にて懇親会が行われ、交流できていなかった受講生同士やグループファシリテーター、スタッフとの親交を深める場となりました。